

アスコ

立命館大学理工学部

立命館大学大学院理工学研究科

正会員

正会員

学生会員

北田 真理

笹谷 康之

松尾 繁

1. 目的

数少ない水と住民が身近に接している岐阜県八幡町を対象に、町の魅力を追求し保存していくべきためのデザイン・ボキャブラリーを発見して、CD-ROMコンテンツ「水の町 郡上八幡」を作成した。

2. 方法

1996年4月から8月にかけて述べ4回現地を訪れて調査するとともに、8月28日から31日にかけて研究室のメンバー12人で合宿を行い、現地の人々と交流会やワークショップを持った。この取材をもとに、オーサリングツールを用いてCD-ROMコンテンツを作成した。

3. CD-ROMコンテンツ 「水の町 郡上八幡」の構成

(1) 八幡町についての説明

◆八幡町の概要・八幡町について・

八幡町の歴史

(2) 吉田川オリジナルマップ

◆吉田川北部の水屋・水船・井戸マップ

30カ所の多様な水屋・水船・井戸をマップにした。

◆3世代川遊びマップ

3世代の水遊び場をプロットし、マップに表した。吉田川の表情を、昔の写真とともに載せた。吉田川が表情豊かな川であることと、八幡町の住民の親水性を表現した。

表-1 3世代遊び場比較表

	戦前（60歳）	戦後（30～60歳）	最近
おやつ	いもきり、干した栗、干した柿	キャラメル、あられ、落花生あられ	スナック菓子、ジュース、コーンス
飲み水	川の水、清水、湧き水	清水、湧き水	水道水
年中	魚つり、ままごと	ラジコン、魚つり、路地で自転車遊び	魚つり、TVゲーム、あまり外で遊ばない
夏	竹とんぼ、竹馬、花火、はたる狩り	竹とんぼ、波乗り、川から飛び込む、花火	竹とんぼ、スノー、川遊び、シュノーケリング、川から飛び込む、花火
遊び場	飛び込み場	新橋・宮ヶ瀬橋（昔から変わっていない）	
冬	スキー、六甲田山ごっこ、羽子板、お手玉、缶蹴り、草履作り、どんぐり拾い、風上げ	スキー、羽子板、風上げ	スキー
意見	遊ぶ知恵があった	餓鬼大將がいた。上級生が下級生に上手な川遊びの方法を伝えるシステム。	親が危ながり川遊びをあまりさせない。

(3) 郡上八幡KJ図解

問題点と課題点をKJ図解化し、関連のある写真にリンクさせ、言葉をよりわかりやすくさせた。

◆郡上八幡ワークショップ

◆郡上八幡全体KJ図解

◆吉田川南部KJ図解

(4) 郡上八幡 WaterNetwork 図解

郡上八幡の特徴的と表す16のデザイン・ボキャブラリーを抽出して図解化した。デザイン・ボキャブラリーは、郡上八幡固有のボタン・ランゲージとも言える。よって、ポンチ絵・写真・キーワードと文章とで、デザイン・ボキャブラリーを示して、八幡町の魅力を引き出す環境設計の手引きとした。

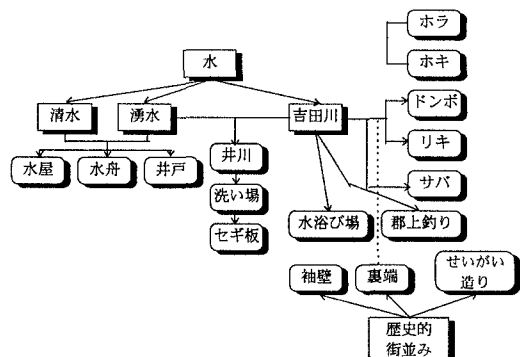


図-1 デザイン・ボキャブラリー

参考文献：クリスファ・アレクサンダー - 平田翰那訳(1984)「パターン・ランゲージ」鹿島出版

Keyword : 郡上八幡・CD-ROMコンテンツ・デザイン・ボキャブラリー・KJ図解
北田真理：〒550 大阪府大阪市西区江ノ子島1丁目10番1号(株)アスコTEL 06-444-1121 (代)



水屋と近い多種多様である。基本的に、湧水・清水を引く個人（共同のものもある）で濯ぎなどの生活用水としているものと、水道水や川の水を引いてきて観光用のアイキャッチとして、店先や路地になどに置かれている物とに分けられる。水舟の水は、地域によって水量に違いがあり潤れている所もある。地域によって使用の度合いが違い、よく使っている地域では、生活の一部となっている。また、水神等があるところが多い。

生活用水として使われている水舟の類の構造物は、コンクリートでできた3・3段の四角い構造物となっている物と、ステンレス製の四角い1段の箱、2段並べて蛇口を並列させた物がある。素材としては、木は腐食しやすい材料とされない。おびて汚れた前の生えている年代物の箱は、長い路上八幡の歴史がにじみ出てきた物となっている。



観光用としてや生活用水としての用途をかねて設置されている水舟の類の構造物は、2段か1段の構造物となっている。箱の素材としては、木を中心としてタイル・コンクリートと多様である。竹筒を使った先端を斜めにカットした湧り水とし、その一角を品のある器と表現している。前述は、桶え込みなどでデザインされており、龍泉器が飲料水としたり手を洗ったりする物で、特に祭典用としての利用場面を構えていない。

図-2 デザイン・ボキャブラリーの例
：水舟

＜主なデザイン・ボキャブラリーの説明＞

水屋：湧水・清水を引いてきて、洗い物・飲水（汚れ物・食器洗いなど）の水利用機能が備えられている屋根の設けられた場である。湧水・清水を引いてくることから山の近くに多い。現在では、水道水を引いてきている場合もある。

水舟：水屋とちがって多種多様である。基本的に、湧水・清水を引いてきて個人や共同で濯ぎなどの生活用水としているものと、水道水や川の水を引いてきて観光用のアイキャッチとして店先や路地などにある場合とに分けられる。地域によって使用の度合いが違う。よく使っている地域では、いまでも生活の一部にとけこんでいる。

井川：一般に家の前の川のことを言う。八幡町では、暗渠されているところもあるが、町中いたる所に水路が張り巡らされている。単なる排水溝でなく、中水のように利用されていて、清流が流れており、鯉などが飼われていることもある。

洗い場：洗濯ものの濯ぎとか野菜の土落とし（特に漬物の下準備）などをする洗濯場や台所としての機能が備えられている。規模は、共同で管理している場合から、個人的に自家用として工夫して作られている場合まで多種多様である。現在では、「かわど」とも呼ばれている。

セギ板：木製の板で用水路や川幅に合ったものを用いて、濯ぎや・野菜の土落としなど洗い場としての機能を果たせるように、用水を堰きとめ水位を上げるための板である。洗い物をする場所の下流側に設ける。

水浴び場：水泳場のことである。八幡町では、吉田川でのドンボと呼ばれる水の流れの緩い淵に多い。石飛びをしたり、網で魚取りをしたりすることから、岩場を中心とする。また、年齢や集落により場所が異なっている。

(5)おわりに

八幡町では日本の多くの町から消えてしまった水の豊かなつきあいが、現存している。住民自身にも生活習慣を失う事のないように「生活」「いとなみ」を大切に訴えかけていると言える。

16個のデザイン・ボキャブラリーを、八幡町の保存・整備されるべき町づくりのキーワードとして活用していきたい。

4. まとめ

CD-ROMコンテンツで、八幡町固有の魅力を表現することができた。今後、このコンテンツを八幡町の住民や行政に提示して、水との豊かなつきあい方を活かした環境づくりを支援していきたい。